

生徒の作文から人権について考える

# 「自分らしく」

上陽北学園 8年 入部 紗和さん



私は小さい時、恋愛は男性が女性を好きになったり、女性が男性を好きになったりするのだと思込んでいました。でも、小学五年生の時、初めて性的マイノリティのことについて学び、そうではないこともあると知りました。具体的には「L（レズビアン）」、「G（ゲイ）」、「B（バイセクシユアル）」、「T（トランスジェンダー）」などがあるということでした。その時私は、異性を好きになることが普通だと思っていたので、性的マイノリティといわれる人たちに對して（気持ち悪い。変だな。）といううなたくさんの偏見の気持ちを持っていました。また、性的マイノリティといわれる人たちのことを知る前の私は、友達同士の中で、「○○くんのこと好きなの？」などと書いたり、聞いたりしたことがありました。今思えば、そのような発言を安易にすることは性的マイノリティの人たちを傷つけてしまっていたかもしれませぬ。他にも偏見を持ったり、相手の気持ちを考えずに発言したりしたことがたくさんあったと思います。

は男らしく、女は女らしく生きなさい。」と言っている人の映像を見ました。私も最初は、その人の言っていることは間違っていないと思っていました。でも、その後の映像で登場したある男性が、「自分の人生は自分で決めたいです。私は女として生きたいです。それが私らしい生き方だと思っています。」と話されていました。その言葉を聞いた時、自分が好きで男性・女性に生まれてきたのではないので、女らしくとか男らしくとかではなく、ありのままの自分であるのだということに気づきました。学習したあと、ある日テレビを見ていたら、性的マイノリティの人たちが、「自分たちのことをいろいろ言う人がいても、自分らしく生きたい。」という自分の意志を話しているのを見ました。その時私は、(かつこいいな。幸せになってほしいな。)という気持ちに変わっていました。

性的マイノリティの人たちの中には自分の性に違和感を持ち、誰にも相談できずに悩んでいる人がたくさんいるのではないかと思います。私の周りにも他人に言えずに悩んでいる人がいるかもしれないということ、性的マイノリティの人たちも自分の性を恥ずかしながらに出して堂々と

生きたいと思っているということを知っておくことも大切だと考えます。映像で話した男性のように「胸を張って生きていきます。」といえる世の中になってほしいです。学習しないと以前の私のように（気持ち悪い。何かおかしいな。）と思う人がいるはずなんです。だから、たくさんの人に正しく知ってほしいです。そして男女関係なく接していき、一人でも多くの人に正しい考えを広げていきたいです。

最後に私も、自分の性に向き合って生きている人たちを見習い、自分らしく、元氣いっぱい過ごしていこうと思います。

入部さんは学習を通じて、その人らしさ、自分らしさを尊重することの大切さに気付くことができました。そんな誰もが暮らしやすい社会をみんなで作っていきましょう。

## 人権メッセージ(標語)入選作品

たくさんのご応募ありがとうございました。

【小学生・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の部】  
応募作品数 1116点 / 467人

### ●特選

「あなたの好きと私の好き、ちがうっておもしろいね。」  
川口佑来さん (忠見小4年)

### ●入選

「あいさつは 笑顔になる あい言葉」  
池田朱里さん (忠見小5年)  
「いいえがお なかよしこよし ここにこたー」  
古賀愛貴子さん (岡山小3年)  
「かたらせて いいよあそぼう みんなニコニコ」  
川口恵助さん (忠見小1年)

### 【一般の部】

応募作品数 559点 / 345人

### ●特選

「知ることが 味方になれる 第一歩」  
平島歩さん

### ●入選

「ありがとう」言ってくれてありがとう。心をつなぐまほうの言葉」  
中嶋凜さん (立花中2年)  
「誰にでも 差し出すその手は 温かい！」  
松延忠博さん  
「やめなよ」と その一言で 救われる」  
丸林真矢さん (南中3年)

川口佑来さん (忠見小4年)

